

東京専従日誌

全日本教職員連盟
事務局次長 原井 和彦



この度、東京の事務局専従として、全日本教職員連盟事務局次長を仰せつかりました。原井和彦と申します。

四月、東京も香川と同様に早く桜が満開になり、とても華やかな雰囲気でした。そんな中、緊張しながら全日教連事務局の扉を開きました。子供たちと学校生活から、全国の日教連会員の皆さんや官庁の方々、国会議員の方々との関わりの中で仕事をさせていただく生活のスタートです。

東京は、地下鉄が多く駅の出口が違わずとすぐに道に迷います。しかし、駅員さんや近くに居る人に道を尋ねると快く教えてもらえることにほっとさせられます。東京の人は冷たいという勝手なイメージがありました。声をかけるととても気さくに接してくれることに安心させられます。今後は、私自身も道案内ができるようになり、いろいろな方に優しく接することができるよう、早くこの生活に慣れていきたいと思っております。

そして教育専門職として日々頑張らされている先生方の応援ができるようにこの職務を全うしたいと思います。この専従日誌を通じて、東京での活動の様子や、そこで感じたこと等をお伝えしたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。

第一回会長・事務局長会開催



四月二十八日(土)九時三十分より、香川県教育会館第一・二会議室において、本年度一回目の会長・事務局長会を開催した。開会挨拶では、安本薫委員長(大内小)が、県教委から出された「教職員の働き方改革プラン」について、さらに具現化されるような要望を今後行っていく必要性があることを言及した。さらに香教連活動への積極的参加や協力を要望し、組織の拡大を各単組にもお願いした。

議事では、第四十八回香教連定期大会の役割分担等について、また平成三十年度の行事予定や活動方針案の説明、組織拡大の方策について県教委総括交渉要望内容の検討について討議を行った。

香川で教員を！講師部研修会を開催

四月二十八日(土)、九時三十分より、香川県教育会館において「平成三十年度香教連第一回講師部研修会」を開催した。佐藤盛子香川大学教育学部准教授を講師にお迎えし、「平成三十一年度教員採用選考試験にむけて」と題し、講義をしていただいた。礼節や香川県が求める教師像、基本方針や香川県教育基本計画等についても触れ、採用選考試験に向け、多くの情報を話していただいた。



出席した講師部会員は、教員採用選考試験突破に向け、意欲的に講義を聞いてメモを取る等、真剣に研修会に取り組む姿が見られた。講義終了後、時事通信社「教員採用模擬試験」を受験した。



五月十九日(土)、九時三十分より、香川県教育会館において「平成三十年度香教連第二回講師部研修会」を開催した。大熊裕樹香川大学教育学部准教授を講師にお迎えし、一般選考試験対象者は「総合教養対策」と題して、講義をしていただいた。教員として知っておくべき教育法規や新しい法律や制度について、講師部会員に分かりやすくお話し

いただいた。また、特別選考試験対象者には香教連専従による「論文対策」の講義を行った。論文の出題傾向や書き方について話をした後、練習問題について受講者同士で意見交流を行い、意識を高め合った。最後に受講者は時事通信社「論文模試」を受験した。

今後も香教連講師部では、香川県教員採用選考試験の受験内容に特化した研修会を実施する。多数の講師の先生方の参加をお待ちしている。

第一回中堅教員研修会

毎年好評を頂いている香川教育文化研究所主催の第一回中堅教員研修会を左記の日程で開催する。

○日時 六月二日(土) 十八時～二十時

○場所 香川県教育会館第三会議室

○研修内容 香川県内で活躍中の中堅教員の皆様が管理職任用候補者試験の際知っておかなければならない事柄について研修する。

○準備物 ・香川県教育関係職員事務必携 教育小六法

各学校の中心となって活躍の先生方の参加いただき、教師力の更なる向上に役立てていただきたいと思います。

○お問い合わせ・申込先 香川教育文化研究所事務局 (〇八七―八三七―八四八〇)

今年度の要望活動について



今年度も県教委・県知事・県議会・人事委員会等への要望活動を実施していく。六月には総括交渉、人事委員会への要望、七月には勤務に関する交渉、十一月には文教予算に関する交渉、二月には人事に関する交渉を行う予定である。

香教連は今年度も子供たちのために頑張っている会員の現場の声を、できるだけ多く聞かせていただきたいと思います。

全ては『子供たちのために』である。よろしくお願いたします。

